

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月3日

利用者51名中48名返答

(1、ご意見の割合 2、ご意見内容)

事業所名：YMCAまめの木

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	プレイルーム、相談室とも基準は満たしています	1、適切98%、どちらともいえない2% 2、もう少し広くてもいいと思う	
	2 職員の適切な配置	適切に配置しています	1、適切98%、わからない2%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	設定の活動では遊具が見えないように目隠ししたり、今日の予定や荷物等の置き場はイラスト等で示す等の視覚的配慮をしています	1、はい87%、どちらともいえない、わからない3% 2、プレイルームは2階にありエレベーターがないのでバリアフリーではない。建物の老朽化(トイレが古い)	階段の昇降は必ず職員が見守ります
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、職員が掃除し、遊具や工作類など取り出しやすいように整理しています	1、はい93%、どちらともいえない7% 2、老朽化が気になる。玄関マットではなくすのこがいい	子どもが靴を履く場所は新しくマットを置きました
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎回、クラス前後にミーティングを行い、プログラムの確認と振り返りを行っています。月に1度は職員全員で会議をし、クラスについて意見を出し合っています	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	西宮市児童通所支援連絡会の相互評価グループの方々に評価していただきました	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	神戸YMCA全体で発達支援セミナー、関西地区YMCAで合同研修、月ミーティング内でも研修を行っています	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談内で保護者の方の思いとこれまでの生育歴、検査報告書、現在の様子をお聞きした上でクラス内の様子から考えられる子どものつまずき、良い面を観察し、作成しています	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書は参考になる ・保護者からの意見、担当者からの意見を組み合わせ作成している ・今、何が出来るか今後できるようにしていきたい点をはっきりさせ、具体的にどうすればいいかの提案がある 	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	2名～6名の小グループ活動のプログラムを行っています。その中で個別的な関わりや指導を取り入れいています		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	「ことば・認知」「運動」「社会性」「コミュニケーション」「学習姿勢」など子どもの支援に必要な内容について記載しています		記載内容については今後も職員で話し合いながらよりよい計画書になるよう努めます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	目標や支援内容についてはご家族の方と相談しながら決定し、実施しています	1、はい 100% 2、目標や伸ばしたい点を押さえて支援している	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	チーム全体で立案しています		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日支援は行っていません	・毎回、必要なプログラムが工夫されている ・子どもの成長を見逃さず、適切な時期にさまざまなプログラムを行っている	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	年齢、メンバーによってプログラム内容を変えています。季節的な物や子ども達が興味があるものをプログラムに取り入れています		ご家族と情報交換しながら子ども達が楽しみながら意欲を持って取り組めるプログラムを行えるよう努力します
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	クラス前にミーティングを行い確認しています。児童発達管理責任者が面談内で保護者からお聞きした内容を職員内で共有しています		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	クラス後すぐにミーティングを行い、各職員で気づいた点を共有しています。次回に必要な支援についても意見交換しています		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日案、個別日誌を記録しています		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに保護者の方と個別支援計画の見直しを行っています			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参加	児童発達支援管理責任者が(保育士、特別支援教育士の資格を有しています)会議に参加しています		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在医療的ケアが必要な方は通所されていません		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在医療的ケアが必要な方は通所されていません		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援会議などで幼稚園、保育園、小学校、他の療育機関の方々と情報共有、情報交換しています	セルフプランの方で支援会議が行われない場合は保護者の方を通して他機関と情報交換が行えるようにします	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	西宮市児童通所連絡会の中の研修の参加や特別支援教育士の研修に参加しています		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	小グループで週1回70分クラスのプログラムでするので行っていません	1、はい 35%、どちらともいえない、いいえ、わからない方が65%	神戸YMCAで行っているカーニバルやファミリープログラム、キャンプ等を紹介し、交流の場を紹介していきます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	特に行っていませんが、年2回神戸YMCAで行う発達支援セミナーは地域の方にも案内しています		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	毎回、支援の内容についてはお伝えし、利用者負担等については入会時に説明しています	1、はい 100%	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年ごとに保護者の方と個別支援計画の保護者面談を行っています	1、はい 100%	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの幼児版として褒め方講座5回コース(別にフォローアップ1回)を年に2回行っています	1、はい 96% どちらともいえないが4% 2、アットホームな雰囲気で自分の子どものことを知った上でのペアトレなのでよかった	褒め方講座は3~5歳児の保護者の方が対象ですので、2歳児保護者向けとしては保護者学習会を年に2回行いました
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	クラス前後に幼稚園や家庭での様子、体調を確認しています	1、はい 100% 2、毎回、様子や課題、良いところを伝えてもらい共有できる	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	年に3回の個別面談以外に必要な方はその都度子育て、発達相談を受け付けています	1、はい 100% 2、困っていることはないか相談しやすい声かけがある	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会の活動の支援は特に行っていません。保護者学習会などでの意見交換の時間を通して連携がとれるように心がけています	1、はい 60% どちらともいえない、わからないが40%	クラス時間内は待合室を開放し、保護者の方同士で情報交換や交流の場として使っています
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	児童発達管理責任者が要望、苦情受付を担当しています	1、はい 67% どちらともいえない・わからないが33%	電話、メールの受付以外に待合室にご意見箱を設置します
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉が出なかったり、コミュニケーションの苦手さがある子には言葉が出やすいように視覚支援を行っています。	1、はい 100%	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたよりやホームページで活動内容をお伝えしています	1、はい 96%、どちらともいえない・わからないが4%	全員の方に周知していただく為に声かけしたりプレイルーム前に掲示していきます
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルは鍵のかかっている棚に保管し、名前が記入されている書類はシュレッダーにかけています	1、はい 94% どちらともいえない・わからないが6%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルは作成しています。職員間では周知しています。	1、はい 67% いいえ、どちらともいえない・わからないが33%	感染症対応マニュアルを作成します。保護者の方に周知していただく為、要綱、おたより等で発信していきます
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員だけの火災、地震、防犯の避難訓練と、クラス内でも子ども達と一緒にを行っています	1、はい 65% いいえ、どちらともいえない・わからないが35%	訓練の回数を増やし、保護者の方も可能な限り一緒に訓練に参加していただきます
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回、ミーティング内で職員研修します。職員代表者が障害平等研修(DET)に参加しています		重要な研修なので次年度は多くの職員が参加できるようにします
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	プレイルームは2階にあるため、安全の為に鍵をかけています。保護者の方が参観していただける様に戸には大きなマジックミラーがついています		必要な場合は管理者、児童発達管理責任者が保護者の方に了解を得たうえで決定します
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー物質、食品について入所時に保護者の方に記入していただいています。年に数回のおやつ時には事前に保護者の方に確認しています		食べたおやつ物の現物をクラス後に見ていただくようにします
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	クラスやミーティング内で危険回避、安全確保についてはその都度、共有していますが、事例集は作成していません		職員全体で話し合い今年度中に作成します